

△アルサルミン細粒 [内]

【重要度】★★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】スクラルファート (U) sucralfate 【分類】胃炎・消化性潰瘍治療剤

【単位】△1g/包 [90%細粒]

【常用量】3～3.6g/日

【用法】分3 [食間服用が望ましい]

【透析患者への投与方法】禁忌 [長期投与によりアルミニウム脳症, アルミニウム骨症, 貧血などがあらわれることがある] (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】長期投与によりアルミニウム脳症, アルミニウム骨症, 貧血などがあらわれることがあるため慎重投与 [定期的に血中アルミニウム, リン, カルシウム, アルカリフォスファターゼ等の測定を行う] (1) 【その他の報告】Ccr 50mL/min 未満では投与を避ける (3)

【特徴】炎症部位ないし潰瘍底の白苔の蛋白成分と強力に結合し保護層を形成することにより胃液の消化力から病変部を化学的に保護し治癒を促進する. pH3.5 以下で潰瘍面への付着が促進されるが, 食物中の蛋白質と結合するおそれがあるので空腹時服用が望ましい。

【主な副作用・毒性】便秘, 口渇, 悪心など

【安全性に関する情報】長期投与によりアルミニウム脳症, アルミニウム骨症, 貧血等があらわれるおそれがある (1) 経管栄養処置を受けている成人患者, 低出生体重児及び新生児発育不全において, 胃石・食道結石がみられたとの報告がある (1)

【モニターすべき項目】血清アルミニウム濃度 (U)

【吸収】disaccharide 構成成分は最大 5%, アルミニウムは最大 0.02%が消化管より吸収される (U)

【排泄】主に糞便中; 硫酸 disaccharide の少量は尿中に排泄される (U)

【相互作用】テトラサイクリン, ニューキノロンとキレート結合し吸収阻害を起こすため本剤を食間服用, 他剤を食後服用する [2hr 以上あける] (1) クエン酸はアルミニウム吸収を促進 (1)

【備考】本剤 3g 中の Al 含量はアルミゲル 1.9g に相当

【更新日】20150618

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。